

時代の舵をきる。

日本丸の針路

平和を創る外交

米国に対して、言うべき事を言い、中国に対して、言うべき事を言う。
多面的外交・多国間外交に全力をあげ、世界の国々と協力しながら、東アジアの平和と安定繁栄を創造する。
ここに日本の生き残りがかかっています。

国民を飢えさせない

日本はすでに潜在的な食料危機にあります。
国民が飢えぬよう、可能なかぎり、食料自給力を高めねばなりません。
農業政策は、「農家の所得」に加えて、「国民への食料供給」を主目標にすえ、国民の理解と協力を得ながら、財源を確保する。
「食料安全保障」に大きく舵をきります。

エネルギー国産化

再生可能エネルギー開発が、地域経済を活性化させる仕組みをつくります。
地域に雇用が生まれ、県民所得が上がれば、全国で、競い合うようにして、エネルギー開発がすすむことでしょう。「国産エネルギー」と「地方復活」の一石二鳥。「一極集中型」から「分散自立型」へ。
日本丸の舵を大きくきります。

デフレ経済と決別する

長いデフレ経済がつづき、日本経済はすっかり弱ってしまいました。
けれども今、賃金は上がりはじめ、設備投資も増え、株価も上がっています。
今、力強い成長型経済へ回帰する正念場です。
このチャンスを逃がさない。
日本経済にアニマルスピリットを取り戻し、産業力・技術力を本格的に再生する。あらゆる政策を総動員して、このチャンスをつかみます。

社会保障を守りぬく

人はいつ病気にかかるかもわからないし、誰だっていずれは歳をとります。
みんなが、安心して暮らしていけるように、社会保障を守りぬかねばなりません。
そのためにこそ、時代に応じた制度の見直しが必要です。
国民のみなさんとの対話を重ね、いっしょに考えながら舵をきっていきます。



よ し し る ひ か わ さ わ

プロフィール

0歳 S40年申間生まれ。焼耐屋の二男
23歳 東大法学部卒業 建設省入省
30歳 故郷にて政治活動スタート
38歳 衆議院議員 初当選
45歳 自民党青年局長
48歳 財務副大臣
56歳 法務大臣
59歳 衆議院議員7期目

自民党 公認